

病院の 実力

～茨城編 217

今回は骨折治療を取り上げる。手術が必要な場合を対象に調査し、一覽表では2024年に実施した手術件数など

病院の実力「骨折治療」
医療機関別2024年治療実績
(読売新聞調べ)

医療機関名	主な手術 (件)	重度の骨折 (件)	高齢者の 脆弱性骨折 (件)	大腿骨近位部骨折の 早期手術 (件)
土浦協同	300	95	205	10
県西部メディカルセ	199	64	135	36
嶋崎	178	3	175	66
つくばセントラル	177	16	161	78
水戸赤十字	165	12	153	52
県立中央	162	20	142	—
筑波大	152	116	36	30
筑波学園	132	6	126	31
結城	126	3	123	42
いちはら	123	31	92	24
友愛記念	74	1	73	5
牛久愛和総合	42	1	41	0
千葉				
亀田総合	469	167	302	57
聖隷佐倉市民	323	38	285	19
順天堂大浦安	317	158	159	57
千葉労災	308	54	254	39
国保旭中央	297	71	226	84
松戸市立総合医療セ	242	95	147	15
君津中央	228	75	153	38
東千葉メディカルセ	217	61	156	8
船橋市立医療セ	184	65	119	12
日本医大千葉北総	161	87	74	9
慈恵医大柏	149	87	62	12
国際医療福祉大成田	137	21	116	3
おおたかの森	115	1	114	17
千葉西総合	110	0	110	0
東邦大佐倉	85	7	78	3
玄々堂君津	84	0	84	27
国際医療福祉大市川メディカルセ※	72	1	71	14
千葉大	65	40	25	0
千葉県総合救急災害医療セ	45	45	0	0
香取おみがわ医療セ	26	22	4	0
栃木				
とちぎメディカルセしもつが	229	7	222	—
済生会宇都宮	225	152	73	24
那須赤十字	199	67	132	51
宇都宮記念	177	49	128	0
自治医大	150	79	71	20
国際医療福祉大塩谷	142	0	142	0
独協医大	128	42	86	2
国・宇都宮	121	35	86	0
新上三川	102	9	93	10
国際医療福祉大	94	33	61	0

「国・」は国立病院機構、「セ」はセンター、「—」は無回答または不明
※2026年4月に国際医療福祉大市川から名称改称

骨折治療

大腿骨薬で再骨折防ぐ

を示した。

主な骨折手術には、緊急手術になることが多い「重度の骨折」と、高齢者にみられる

「脆弱性骨折」がある。重度の骨折は、骨盤や脊椎

のけがによる骨折と、骨が皮膚や筋肉を突き破る開放骨折

を対象とした。いずれも死亡

するリスクや治療の難度が高い。

脆弱性骨折の原因となるのは、骨粗しょう症だ。高齢者

の中でも女性に多くみられ、つまずくなどして軽い衝撃を受けただけでも折れてしまう

のが特徴だ。

脆弱性骨折のうち、骨盤と背骨の骨折手術は重度の骨折に含めた。

太もも付け根の「大腿骨近位部骨折」は、基本的に手術

の対象となる。けがから48時間以内の早期手術、集中的な

リハビリ、「二次骨折」（再度の骨折）の予防のための薬

物治療などの対策が重要だ。一覽表では、大腿骨近位部骨折の早期手術の実績を掲載し

た。

骨粗しょう症は自覚症状がなく、骨折してから診断されることも少なくない。骨の強度を保つには、高齢者だけでなく、若い世代もバランスの

良い食事や適度な運動などを心掛けることが大切だ。

全国の調査結果は21日

の「からだ」面に掲載しました。